

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

熊本地震等の経験で、県外業者ではアフターケアが厳しく、多種多様な県内事業者によるワンストップサービスが求められた。そこで、住まいの安全と快適空間提供のため県内事業者、職人の連携、輪を広げ、若手人材を増やし育成することに取り組む。また、一人暮らし高齢者、空き家の増加等で司法書士、遺品整理士等と連携し資産の有効活用と快適空間創出を実現する「地域になくてはならないナンバーワン企業」を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	若手人材の雇用促進	雇用者数 2023年2人→2026年5人
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	宅地建物取引士資格者の育成	宅地建物取引士資格者数 2023年1人→2026年2人
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	司法書士、遺品整理士等と連携し、建物環境改善・有効活用事例の創出	改善・有効活用事例数 2023年3件→2026年10件

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

県内の建築、建設、電気事業者や広告代理店、地域等との連携、輪をさらに深め、広げるとともに、社員の資質向上と働く環境の改善を図り、一丸となって県民の住まいや公共施設等の安全と快適空間創出に取り組む。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	若手人材の雇用促進	雇用者数 2020年1人→2023年4人
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	熊本地震等の災害に伴う復旧工事等が落ち着き工事件数が伸びなかったこともあり、経営的な観点で雇用に踏み切れず目標未達となった。	2023年2人
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	建築施工管理士資格者の育成	資格者数 2020年0人→2023年1人
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	資格者の育成に取り組んでいるが、資格取得にチャレンジする職員がなく目標未達となった。	2023年0人
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	司法書士、遺品整理士等と連携し、建物環境改善・有効活用事例の創出	改善・活用事例数 2020年0件→2023年5件
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	一人暮らし高齢者や空き家の増加等に伴いスタートさせた事業であるが、競合する事業者も多く、結果的に目標未達となった。	2023年3件

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」を**そのまま転記してください。**

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。**指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。**

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績を数値を用いて記載してください。**